

桑グリルパワーと地域共生社会作り

関東農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」優良事例で表彰を受けます。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、「強い農林水産業」「活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより、地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を表彰するものです。この度「社会福祉法人パステル」は、関東農政局から優良事例として選定され、12月5日の選定授与式に臨むこととなりました。

【取り組みの概要】

- ① 障がい者の社会参加、就業支援のため、桑をテーマとした「食べる桑」養蚕から手織物といった商品を開発
- ② 耕作放棄地を再生し、無化学肥料で桑を栽培。桑の葉を利用した桑茶、パウダーとしてパン・ケーキ・うどん・パスタの製造
- ③ 養蚕業を開始し、紬糸取りから新たに紬織物の製品化に向けて試作

パステルでは、CSW おとめとフロンティアおやまを中心に桑のミクスロプロジェクトを展開して参りました。まだまだ道は遠いですが多くの方々のご協力に感謝申し上げます。これからも障がい者の自立の道と地域の活性化を求めて努力いたします。今後とも応援をよろしくお願いいたします。
パステル常務理事 石橋須見江

「小山市地域生活支援拠点」として始動します！

2018（平成30）年10月1日から小山市からの委託により、「地域生活支援拠点」としての業務をCSWおとめ内に設置した事務所で行っております。また、10月4日には、CSWおとめにおいて「地域生活支援拠点」オープニングセレモニーを開催しました。

地域生活支援拠点とは、障がい児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じて整備し、障がい児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制です。具体的な機能として①相談、②緊急時の受入・対応、③体験の機会・場の提供、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりが挙げられます。地域で安心して暮らせる体制整備、地域の複合的なニーズに対応するため、社会福祉士等の国家資格を持った職員を配置し、緊急受け入れの対応や体験の機会・場の提供などの調整を行ったり、地域づくりを進めていきたいと思っています。

～ひとりで悩まないで～



2018.10.4.「地域生活支援拠点」オープニングセレモニー





ダンス発表について

「楽しいです！！！！」「もう一回踊りたいです！！！」

嬉しいことに、20周年式典の練習を重ねることに利用者様のこんな声が増えてきました。今回の発表に向けて、各事業所から集まった19名のメンバー。今回は大村先生にもご指導いただき、フォーチュンクッキーは初めてのフォーメーションの移動にもチャレンジしました。初めのうちは、振り付けや動きを覚えることで精一杯でしたが、日々の練習で一人ひとりが自信をもって笑顔で踊れるようになりました。

本日の発表までの練習の成果を、そして笑顔で楽しく踊っている姿をぜひご覧ください！！

20周年式典に向けて猛特訓！

エアオーケストラ発表について

今年度のエアオーケストラの発表も今回で3回目を迎えます。

20周年記念式典に向け、メンバーも大きく変わり、新体制で練習を始めたのも十一月の声を聞いてからでした。自分のパートを覚えることから始まり、一人ひとりの動きをそろえるのが難しかったようですが、練習をしていくうちに段々と周りの仲間の動きが見えるようになり、オーケストラとしてのまとまりが出てきました。また、指揮者に目を向けられるようになり、まるで実際に楽器を演奏しているかのような豊かな動きが出せるようになりました。

今日の発表を目指して練習を頑張りました。これまでの成果をぜひご鑑賞ください！



「カルフルとちぎ」で発表

編集後記

平成10年に社会福祉法人としての認可を得てから、「パステル」は今年で20年を迎えます。人間に例えるなら、めでたくも成人式を迎え、一人前、ということになるのでしょうか。しかし「福祉」の仕事に限って言えば、ようやく一人前として認められる段階に到達したばかりで、ここからがスタートなのかもしれません。地域に根差し、利用者の安心・安全と生きがいを感じられる「社会福祉法人」を目指し、今後の発展を「地域」「利用者」「保護者」「職員」が共に手を携え支えて行こうではありませんか。

広報委員会 熊谷・五十嵐・篠崎